

チャペル週報

No.10

2016.6.13 ~ 6.17

彼らは、もはや飢えることも渴くこともなく、
太陽も、どのような暑さも、彼らを襲うことはない。
(ヨハネの黙示録 7章16節)



タンバス記念礼拝堂(神戸三田キャンパス)

関西学院宗教センター

もうひとつの視点

姜 安 娜

あるカエルが、川の流れの先遙か遠くに見える、生い茂った森を目指し泳いでいます。目的地に向かって一心不乱に進んでいる時、突然、岩にぶつかり、行く手を阻まれるどころか勢い余って陸地に飛ばされてしまいました。体中が痛む中、全く予期せぬところに飛ばされてしまった彼は、『なぜこんなことが起きたのか』何度も自分に問うてみましたが、答えを導きだすことはできず、『自分が情けないからだよ』という思いが溢れてくるばかりでした。同じ川を泳いでいた仲間や他の生き物も、そんな彼を気の毒に思いました。

しかし、彼はその先に大きな滝があったことを、知りませんでした。カエルの目からは滝など全く見えなかったのです。進もうとする本人にとって、その道は完璧に見えても、より大きな体を持つ私たちから見れば、それがカエルにとって最善の道でなかったことが分かります。

私たちが覚えておきたいことは、私たちの人生においても、人間よりはるかに偉大な創造者である神の視点があるということです。願わなかった出来事、失敗と思えるような出来事、『なぜ』という問いかけに答えが出ない出来事はむしろ、神様の視点から見ると、一人ひとり無くしてはならない、『計画の一部』であることが多いのです。

『神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益ととしてくださることを、私たちは知っています。』

[ローマ8：28]

『あなたがたの会った試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。』 [Ⅱコリント10：13]

聖書には、自分が自分を見る視点と、人が自分を見る視点に加えて、人間を見守る神様の視点があることを覚えて、人生の荒波を乗り越えた、(カエルではなく)先輩たちの人生談が多く書かれています。ここに、聖書が時代と国を越えてベストセラーであり続ける理由があるのかもしれない。

こうした文化の息づく学び舎で学生時代を送ることができたことは、私の財産であると感じています。みなさまにも、そう感じられる機会が訪れますようにお祈りしております。

(法学部事務室職員)

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 6月13日(月) 神 <説教演習B> 大野 順 (神学研究科M2)
経 「経済と人間②」藤井英次 (経済学部教授)
人 川崎 真理子 (人間福祉学部助教)
聖和 聖書物語「神さまからの十のいましめ」
理 前川 裕 (宗教主事)
-
- 6月14日(火) 神 関 雅人 (日本基督教団大津東教会牧師)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 人権を考えるチャペル -世界難民の日を覚えて-
野津 美由紀 (認定NPO法人 難民支援協会広報部)
法 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."
経 「経済と人間③」田畑 顕 (経済学部教授)
商 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (missionary)
国 時任 隼平 (高等教育推進センター)
聖和 宗教総部献血実行委員会
理 前川 裕 (宗教主事)
総 KSCハンドベル&アンサンブル
-

- 6月15日(水) 神 <奨学金授与礼拝> 沖村 裕史 (日本基督教団塚口教会牧師)
社 春の音楽チャペル④ バロック・アンサンブル
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (missionary)
経 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."
商 献血実行委員会
人 献血実行委員会
国 平林 孝裕 (宗教主事)
聖和 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 J-Fun Youth KG
-

- 6月16日(木) 神 築山 直宏 (神学研究科M1)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 世界と出会う④ 望月 康恵 (法学部教授)
法 音楽チャペル バロックアンサンブル
商 藤川 義 (社会福祉士、人間福祉学部卒業生)
国 English Chapel Eun Ja Lee (missionary)
聖和 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
総 佐竹 優輝 (国際学部4年)
-

- 6月17日(金) 院 神田 健次 (神学部教授)
神 安田 典子 (神学研究科M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (missionary)
人 井上 智 (神学部助教)
理 前川 裕 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
6月17日(金) 自宅外通学生のために 中村 謙太(文4)(静修寮2015年寮長)

●夏の献血週間のお知らせ

宗教総部献血実行委員会では、夏の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

<西宮上ヶ原キャンパス>

期 間：6月13日(月)～17日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●オルガン音楽の泉 2016 Spring semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第10回 6月16日(木) 西山 聡子(本学オルガン講師)

第11回 6月28日(火) 松原 晴美(桃山学院大学オルガニスト)

第12回 7月8日(金) 山本 真希(りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館専属オルガニスト)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ：関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催：宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405号教室)

6月主題：「インクルーシブな社会を目指して」

6月16日(木) 山本 俊正(キリスト教と文化研究センター長)

6月23日(木) 舟木 讓(宗教総主事・大学宗教主事)

6月30日(木) 山本 俊正(キリスト教と文化研究センター長)

●第1回教育研究部サロン「弱さがまく種物語」

ーバングラデシュで働くJOCSの岩本直美さんを迎えてー

と き：6月30日(木)17:00～18:15

ところ：吉岡記念館2階 研修室1

講 師：岩本直美(JOCSバングラデシュ派遣ワーカー・看護師)

主 催：宗教活動委員会教育研究部

*申込み不要、無料(教職員・学生・一般対象)

JOCS(日本キリスト教海外医療協力会)のワーカーとしてバングラデシュで活動されている岩本直美さんが一時帰国されたのを機に講演会を開催します。貴重な機会です、どなたでもご参加ください。

●タベの祈りatランパス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごすタベの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第2回 6月30日(木)18:30～20:00

ところ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：タベの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●第204回ランパス演奏会「ハーバード・ディン&トニクス」アカペラコンサート

THE HARVARD DIN & TONICS(ハーバード大学現役学生12名のアカペラグループ)

と き：7月4日(月)16:30開場 17:00開演

ところ：ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催：関西学院宗教センター

<入場無料>

THE HARVARD DIN & TONICSは1979年に結成、厳しいオーディションで選ばれ、代々引き継がれる伝統ある実力派グループです。その歌声はアメリカの一流ジャズシンガーからも絶賛されています。

現在ワールドツアーの真っ最中、この機会をどうぞお聴き逃しなく！

www.dins.com

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。